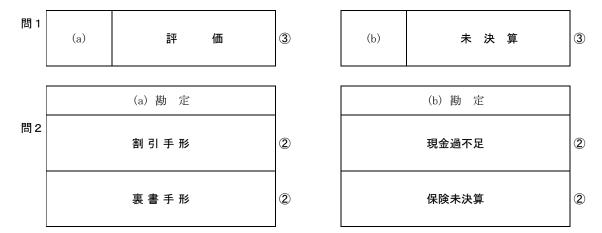
第177回 上級 商業簿記①

問題 1



問題2

	損	益	(単位:千円)
仕 入	② [33,600]	売 上	2 (48,000)
営 業 費	9, 300	ソフトウェア売上	960
社 債 利 息	② [88]	受 取 配 当 金	38
支 払 利 息	② (36)	(オプション差益)	② [4]
棚卸減耗損	② (200)	(有価証券評価益)	② [30]
商品評価損	② (35)	(法人税等調整額)	② (7)
貸倒引当金繰入	② [120]	(為替差益)	② (5)
その他有価証券評価損	② [20]	()	[]
減価償却費	② [990]		
社債発行費償却	② (6)		
法 人 税 等	1,200		
(減 損 損 失)	② [480]		
(ソフトウェア償却)	② [750]		
(繰越利益剰余金)	② [2, 219]		
()	[]		
()	[]		
	[49, 044]		[49, 044]
•		-	

第177回 上級 商業簿記②

_		閉鎖	残 高	(単	位:千円)
現金	2 [8, 427	支 払 手 形		2, 700
当 座 預 金		16,000	買 掛 金	2 [2, 350
受 取 手 形		3,800	未払法人税等	2 [500]
売 掛 金	2 [2, 200]	未 払 利 息	2 [12]
破産更生債権等	2 [600]	借 入 金	2 [1, 200]
売買目的有価証券	2 [930]	為 替 予 約 債 務	2 [485]
買建オプション	2 [20]	受取手形貸倒引当金	2 [57]
為 替 予 約 債 権	2 [540]	売掛金貸倒引当金	2 [33]
繰 越 商 品	2 [2, 765	破産更生債権等貸倒引当金	2 [100]
備品		2,400	社	2 [1, 984]
車 両	2 [2, 520	備品減価償却累計額	2 (1,050]
その他有価証券	2 [1,080]	車両減価償却累計額	2 (1,620]
ソフトウェア	2 [750]	資 本 金		23,000
社 債 発 行 費	2 [12]	資本準備金		2, 900
(繰延税金資産)	2 [7]	利 益 準 備 金		1, 200
([)	繰越利益剰余金	2 (2, 760
([)	(その他有価証券評価差額金)	2 (65]
([)	(繰延税金負債)	2 (35]
			([)
			()	[)
	[42, 051	_	[42, 051

第177回 上級 会計学①

問題 1

	正誤欄	理 由	
1.	×	未収収益は, すべて流動資産に属するものとする。 	- ⑤
2.	0		3
3.	×	成果の確実性が認められるためには、工事収益総額、工事原価総額および決算日における工事	- (5)
δ.	^	進捗度の3つを信頼性をもって見積もることができなければならない。	
4.	×	再調達原価を選択できるのは、製造業における原材料等で一定の要件を満たした場合に限定さ	- (5)
4.	^	れている。	
5.	0		3
C	V	数理計算上の差異は、原則として、各期の発生額について、予想される退職時から現在までの	
6.	×	平均的な期間(平均残存勤務期間)以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理する。	- (5)
7.	×	減損損失を認識するかどうかの判定は、割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比	<u> </u>
1.	^	較することによって行う。	
8.	0		3
9.	0		3
10.	0		3

第177回 上級 会計学②

問題2

		用語	
	(a)	段階取得	5
問1	(b)	支 配	(5)
	(c)	時 価	(5)
	(d)	持 分 法	5

		金	額			
問 1	(e)			630	万円	⑤
	(f)			660	万円	⑤

問2

差額を当期の段階取得に係る損益として処理するのは、支配を獲得したことにより、過去に所有していた投 の実態または本質が変わったものとみなし、その時点でいったん投資が清算され、改めて投資を行ったと考 えられるためである。

問題3

問 1

(計算過程) 25,000万円+4,400万円-3,800万円=25,600万円				
当期商品仕入高(答)	25,600 万円	3		

問2

(計算過程)	25,600万円+3,200万円+4,200万円-4,800万円-3,600万円=24,600万円			3
	当期の仕入支出(答)	24, 600	万円	3

問3

(計算過程)	30,500万円+2,500万円+3,700万円-8,300万円-7,300万円+2,200万円=23,300万円	3

問4

売上高に比べて営業収入がかなり少ないのは、前期末の売上債権(受取手形と売掛金)に比べて当期末の売上債権(受取手形と売掛金)が大きく増加したからである。このことは、売上債権の回収が遅れていることを意味し、資金繰りの観点からは好ましくない状況といえる。

当期の営業収入(答)

〇数字は予想配点

23,300 万円

6)

3

6

